

# ひまわりでエネルギーを作る

ひまわり栽培～バイオディーゼル燃料までをレポート！

6月ごろ



畑の油田化、二酸化炭素の吸収



定植作業



ひまわりの種まき



専用収穫機での刈り取り



搾油作業



ひまわり油を使った給食



トラクターの燃料として使用



バイオディーゼル燃料



バイオディーゼル燃料  
精製作業

黒煙も見られず  
軽油とは違う  
食用油のような  
においがしました

ひまわり油で  
作ったカラアゲ  
おいしかったよ

9月ごろ

インタビュー

## 東古泉区長 三好健二さん

平成19年度からひまわり栽培に取り組んでいる東古泉地区。町内で1番の作付面積を誇り、地域の子どもから年配の方まで大勢の協力を得て、活動しています。

「遊休農地を放っておいていいのかと考えていたちょうどその時に、町からバイオマスの話がありました。正直、ひまわりは簡単に育つと思っていたので、1年目は栽培に苦労しました。けれど、松山市農協の方の指導や、地元農家の意見を聞きながら、2年目には改善できました。バイオマスのおかげで、美化意識が高まって、清掃活動にもみんな自主的に出てくれるようになり、長尾谷川の愛・リバーもこれがきっかけで始めました。環境ではないけれど、自主防災組織が結成されたのもバイオマス事業のおかげと言えるかもしれません。ひまわり畑から資源だけでなく、地域の協力体制が育ってきたと思います」

## ひまわり畑で 地域の協力体制も 育ちました

東古泉地区役員の皆さん

